

(大正十四年十一月十五日 大射道教宇都宮道場での教示要綱)

射物天之道也無發天地大周円脱離離弦宇宙遍満音靈箭照虚空。

自分は多年弓を学んで何ら得る処が無かつた。在来の所謂弓術なる者は術なる者はことごとく窮め尽して見たが唯闘争裡に於ける強者たる道より外に得る処が無かつた。されば今人の弓道なる者は的中を本能として道既に成れりとする之れ即ち指導者の時代変遷と道の大を識らず唯小なる技巧修練に駐まつて大綱を失せる為めなればなり。射は単なる精神修養や体育ではない。人間頓悟の大法であると同時に修身治世の大道である。元より射は敬神崇仏の精神を基礎とするは勿論であつて射中には総て一切の迷見煩惱を断滅して眞の自己本然の生命力の悉くを表現し永遠の生を得て度脱悟入するのである。如何なる苦境に往來しても泰然自若悠々人道を行ずる不動の境地が開拓さるゝのである。如何なる教法試練にも超越したる無上教法であつて即ち人間救済の大道である。現在の如き思想輕薄の時に當りて宗教的試練や幾多の教法は眞に人間を救ひ得て居るや否やを疑ふのである。単なる文字や言葉では人間は救ひ得らるゝ者ではない。人間は靈肉二つの所有者であるが故に靈肉合致の統一的試練を遂げるに人間の生命力が延長出来る者では無い。又身心度脱の境地に到達する事は中々六ヶ敷者である。現代人の心の迷ひ肉の緩みを見て自己の使命に向かつて安心して懸命になり得て居る人果たして幾人あるか。其の殆ど乏しきに感ぜずには居られない。今や弓道は津々浦々に隆盛を極めて居るが唯煦々た

る思想に彎り子々たる矢を架し千射萬中はれ何んの得る処あらんや。是れ即ち小人の道にて特は甚だ兇なり。古の明德を明かにせむと欲する者は先づ其の国を治め其の国を治めんと欲する者は先づ其の家を齋ふ。其の家を整ひしめんと欲する者は其の心を正しうし其の心を正しうせんと欲する者は先づ其心を誠にし誠は天の道也射の道也。聽て天下国家を治する天理常道にして萬世不易の常経たり。將さに世相悪化の時に當り異端邪説を唱ひ悪事を激成し三綱淪み九法敷むと疑ふの時に當り大射道を遍く天下に普及し思想禪堂の本旨を翼成すると同時に立言不朽の靈道を唱道し国民教化の前駆たらざるべからず。此の道たるや徳は大いに吉たり。昔孔子射於矍相之圃觀者如堵と云ひたり。彼の中国禹跡の広き當時柳葉を射る百発百中の人、豈に射塚の口なりと卑む。然るに孔子の射を見る者堵牆「\*」の如く衆多の觀る者決して其の中を觀る者に非ずや。況や聖者大徳の表現なるをや。天地鬼神をも一箭に於て済度せしむる処あるべし。射徳洋洋たり優々として大なる哉。礼射教は心身離脱の妙境に到達する唯一の捷徑にして而かも凡ての宗教を超越したる衆生済度の大教なれば大射道教と命ぜざるを得ず。修身以前弓矯思以為矢奠而發必中矣。即ち天道の弓に天地の矢を架し天地元より全自己なればなり。萬法宇宙來つて吾れを証するなり。吾が教徒身を持するに嚴正を以て的とせよ。家に対しては和合を以て的とせよ。友と交はるに信義を以て的とせよ。業に服しては精神を以て的とせよ。世に処するには誠実を以て的とせよ。道は的なり自己は性的なり。茲に大射道教は永遠無限に到達する射境を開導し習射射裡見心性常往相對射絕對射射識射脱大覺大智無生生大慈大悲の即ち射生の

境地を経て大自己に到達し天地大周円の宇宙に遍満したる大波動は射即ち人生の表現にして大見識となり崇高莊重嚴威嚴聖者勇者智者明るさ較らかさ美しさ等あらゆる自己本然に充満したる大智大慈悲と合対一致した人間最高の大人格の表現である。発し尽せば玲瓏として光風霽月淨明無碍の世界である。吾等の生涯は射なり夫れには弓を弓として扱つたら疾ても真の妙境に到達する絶対不可能なり教の弓に弦を張れ。大慈悲の矢を架す濁世の人間を救済する者である。徒らに的中や勝負を争ひ百中を基礎とするは習射の境地では僅に射の端緒を知るのみで不徹底なる遊樂に誇り弄べる野獸的鬪争に近い優勝劣敗を事とする悪習は結果は浮果となり輕佻となり道の衰頹を來したので是れ吾等の行くべき道では無い。吾等は強者たらねばならぬ併し吾等は物的鬪争裡に於ける安価なる野獸的精神に基礎を發したる強者たるを望むべきでは無い。完全なる靈肉統一的發展を図り真の道の強者たるのが目的である。而して心身を強健にし徳性を充実し平常道德質実剛健に導き浮華放縱を斥け輕佻詭激を矯め荒怠相誼め何処迄も真劍努力試練三昧以て道に志し徳に拠り実践躬行以て亡びんとする自己を延長して射徳を表現せしめ法悦を境地に安住し各自の天職を自覺して国体民性の弊害となるべき思想習性を開導して徹底的文化の普及に努め同志自ら相誠め人格建造の大業として信仰生活に生き射生の永遠に感謝しつゝ実世相に面接し他道の指針者となり至誠の心を旨とす剛毅不撓の精神を養ひ崇高なる吾人の天職を自覺して惰民を覺醒す。民衆教化の標語の許に天賦の職能を遺憾なく發揮して亦誠を披瀝し万般の事業を完成すべく素志の円満なる生長を社界に誓願して大射道教の使命を自覺

し以て建国の精神を聖代に活現せられむことを望む。